別添

閣副第　１７５１号
令和３年11月２日

関係省庁
　孤独・孤立対策担当局長　御中

内閣官房孤独・孤立対策担当室長
谷内　繁
（公　印　省　略）

孤独・孤立対策ホームページの新設にかかる周知について（依頼）

日頃より、孤独・孤立対策に御尽力いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、孤独・孤立に悩んでいる方の増加が懸念される中、当室では、そのような方が活用しやすいホームページの構築を進めており、このたび、一般向けのホームページを新設しました（概要は別添１のとおり）。ホームページのアドレスは次のとおりです。

https://notalone-cas.go.jp/

あなたはひとりじゃない　孤独・孤立対策　検索

上記ホームページでは、孤独・孤立で悩みを抱えている方が各種支援制度や相談先を探しやすくなるよう、自動応答により案内するシステムを搭載しています。

また、悩みを抱えている方が支援の声を上げやすいよう、よくある御質問とそれへの回答や専門家らの悩みを抱えている人への情報、野田大臣からのメッセージを掲載しています（別添２）。

なお、先行公開した１８歳以下向けのページにも新たに野田大臣のメッセージを掲載しています（別添３）。

本ホームページについては、孤独・孤立で悩みを抱えている人に広く活用してもらうことが重要であり、そのためには、関係省庁の関連施策のページにリンクを貼る又は本ホームページを紹介するなどしていただくことが有効であると考えています。

つきましては、上記について、御検討いただくとともに、関係部局や関係諸団体への周知について各別の御配慮をよろしくお願いいたします。

ホームページの内容は、今後さらに改善を加え、充実したものとしていくこととしており、ホームページに関する意見等があった際には、担当まで御連絡下さい。

本件連絡先
内閣官房孤独・孤立対策担当室　　田村、中村、槍澤（うつぎさわ）
電話　03-5253-2111（82839，82835，82841，82843）
E-mail　kodoku.koritsu.taisaku.k7x@cas.go.jp

別添１

孤独・孤立対策新ウェブサイトの公開について

○孤独・孤立に関する各種支援制度や相談先を一元化し、情報発信するウェブサイトを作成。

○孤独・孤立に陥った時に支援を求める声を上げやすくなるコンテンツを掲載。

○８月 17 日に 18 歳以下向けのページを先行公開。（10 月 28 日までの閲覧者はのべ約 42 万人）

○11 月 2 日に一般向けのページを公開。

【一般向けページ概要】https://notalone-cas.go.jp/

○名称「あなたはひとりじゃない」

○自動応答によるチャットボットにより、約 150 の国の制度や相談窓口の中から利用者の悩みに応じたものを案内する機能を搭載。

（※悩みの分類は以下の 12 種類：

食事・住まい・家事、生活や医療に係る費用、仕事・職場、妊娠・出産、子育て、一緒に暮らしている人との関係、介護、犯罪被害・消費者被害、病気・依存症/社会復帰、交通事故・災害、新型コロナウイルス、悩みを話せる場所がない）

○専門家から、悩みを抱える利用者に向けて、役立つヒントを掲載。（相談窓口の上手な活用方法、ストレスに対処する方法）

○孤独・孤立対策に係る大臣メッセージを掲載

【一般向けトップページ】

【専門家からのヒント画面（トップページ内）】

（参考）

【18 歳以下向けページ概要】

〇自動応答によるチャットボットにより、SNS、電話、手紙の 11 つの相談先等を紹介する機能を搭載。

〇公開日に、悩みを抱える子どもたちが活用できるよう御配慮いただくこと等について、文部科学省を通じて各教育委員会に周知。

【18 歳以下向けトップページ】

【チャットボット画面】

別添２

野田大臣から皆さんへのメッセージ

こんにちは。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

新型コロナウイルスの影響が長引いている中で、心の不調を感じている方が多くおられると思います。

また、悩みを抱えている方も多くおられると思いますが、支援制度や相談先があるのに、それを知らずに一人で悩みを抱え込んでいませんか。悩みごとを誰かに打ち明けたり、相談したりしていますか。

こうした方々に向けて、「孤独・孤立対策ウェブサイト」では、私たちが孤独・孤立対策に関連するものとして現在考えている制度や相談窓口の中から、ご自身の状況にあった支援をお探しいただくことができます。今後も内容を充実させていきますが、少しでも早く必要な情報を、悩みを抱えておられる方々に届けたいと思っています。

どんなに頑張っても自分だけではどうしようもない状況に追い込まれるときは、誰にでもあります。私自身も、孤独感や孤立感に陥るときはあります。

そんな時には、誰かに相談して悩みを打ち明け、一緒に考えてくれる人とつながることで、今の状況が少しでも良くなるはずと、そう信じています。悩みを誰かに打ち明けることは、決して恥ずかしいことではなくて、あなた自身を守るために必要なこと、そう信じて前に進んでみてください。

孤独感や孤立感の中で様々な悩みを持っておられる方々のために私たちができることを、政策として実行していくため、全力を尽くしていきます。

孤独・孤立対策担当大臣　野田 聖子

別添３

野田大臣から18歳以下のみなさんへのメッセージ

こんにちは。孤独・孤立対策担当大臣の野田聖子です。

悩みを誰にも相談しないで、ひとりで苦しい気持ちをかかえこんでいませんか。自分だけでなんとかしようと、もがいていませんか。

私たちはみんな、誰かに助けられたり助けたり、ささえあうことで、つらいときを乗りこえることができます。

悩みがあってつらいときに、よりそってくれる人や一緒に考えてくれる人は、きっといるはずです。親、先生、友達、地域の人など、信頼できる周りの人に、まず相談してみてください。

それでも、周りには頼れる人がいない、誰も助けてくれない、ということがあるかもしれません。

そう思うときは、このウェブサイトで紹介している相談先の方々に、みなさんの悩みを話してみてください。このウェブサイトには、みなさんの気持ちを受け止めて、ささえてくれる人がいます。

いま、みなさんが苦しい気持ちをかかえていても、解決方法を見つけられたり、少し見方を変えると今まで気がつかなかったことが見えてきたりして、気持ちが和らぐことがあります。

あなたはひとりじゃない。どうか、ひとりでかかえこまずに、まず誰かに相談してみてください。

孤独・孤立対策担当大臣　　野田　聖子